

裁判官会議（第 11 回）議事録

令和 6 年 4 月 3 日（水曜日）

裁判官会議室において、午前 10 時 30 分開議

出席者 戸倉長官、深山、三浦、草野、宇賀、林、岡村、長嶺、安浪、渡邊、岡、
堺、今崎、尾島、宮川各裁判官

戸倉長官議長席に着く。

議事

人事について

- (1) 徳岡人事局長から、資料第 1 に基づき、人事関係事項について説明があり、
1 の裁判官の退官については、報告がされ、2 の裁判官の転補等については、
原案どおり決定した。
- (2) 徳岡人事局長から、資料第 2 に基づき、さいたま家庭裁判所長の補職等につ
いて説明があり、次のとおり決定した。
 - ア さいたま家庭裁判所長鹿野伸二の定年退官に伴い、広島家庭裁判所長高山
光明をさいたま家庭裁判所長とし、その後任者を高松高等裁判所判事濱口浩
とする。
 - イ 仙台高等裁判所判事瀬戸口壯夫の定年退官に伴い、秋田地方、家庭裁判所
長見米正を仙台高等裁判所判事（部の事務総括者）とし、その後任者を東京
高等裁判所判事伊藤繁とする。
 - ウ 東京高等裁判所判事松本利幸の依願免本官並びに兼官に伴い、千葉家庭裁
判所長太田晃詳を東京高等裁判所判事（部の事務総括者）とし、その後任者
を札幌高等裁判所判事佐久間健吉とする。

午前 10 時 36 分終了

議 長

秘書課長



裁判官会議付議人事関係事項(令和 6. 4. 3提出)

1 裁判官の退官について

定年退官(令 6. 5. 4)

東京簡裁判事

明 石 聖

2 裁判官の転補等について

東京簡裁判事(司掌者)・東京地判
事

東京地判事(部総括)・東京簡裁判
事

菊 池 憲 久(46)

東京地判事(部総括)・東京簡裁判
事

東京高判事・東京簡裁判事

田 中 寛 明(50)

最高裁事務総局参事官(東京地判事
・東京簡裁判事)

大阪高判事・大阪簡裁判事

馬 場 俊 宏(53)

裁判官会議（第１２回）議事録

令和６年４月１０日（水曜日）

裁判官会議室において、午前１０時３０分開議

出席者 戸倉長官、深山、三浦、草野、宇賀、林、岡村、長嶺、安浪、渡邊、堺、
今崎、尾島、宮川各裁判官

戸倉長官議長席に着く。

議事

人事について

- (1) 徳岡人事局長から、資料第１に基づき、人事関係事項について説明があり、
１の裁判官の退官については、報告がされ、２の裁判官の転補等、３の裁判官
の新規任命等及び４の裁判官の海外出張については、いずれも原案どおり決定
し、５の令和６年春の勲章受章者の内定及び６の裁判官の罷免については、い
ずれも報告がされた。

- (2) 徳岡人事局長から、資料第２に基づき、新潟家庭裁判所長の補職等について
説明があり、次のとおり決定した。

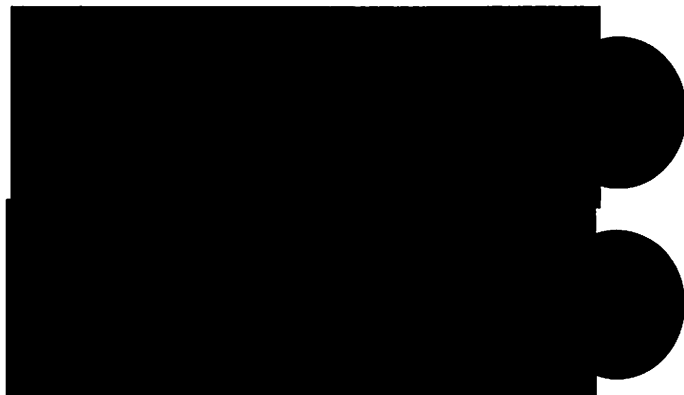
ア 新潟家庭裁判所長菊池則明の定年退官に伴い、函館地方、家庭裁判所長内
田博久を新潟家庭裁判所長とし、その後任者を東京高等裁判所判事角井俊文
とする。

イ 東京高等裁判所判事相澤哲の定年退官に伴い、岡山地方裁判所長谷口豊を
東京高等裁判所判事（部の事務総括者）とし、その後任者を大分地方、家庭
裁判所長森富義明とし、その後任者を横浜地方、家庭裁判所川崎支部長岡部
純子とする。

午前１０時３６分終了

議 長

秘書課長



裁判官会議付議人事関係事項(令和 6. 4.10提出)

1 裁判官の退官について

定年退官 (令 6. 4.15)

最高裁判事

長 嶺 安 政

定年退官 (令 6. 5. 9)

さいたま簡裁判事 (司掌者)

坂 田 知 久

定年退官 (令 6. 5. 9)

甘木簡裁判事

濱 崎 良 三

定年退官 (令 6. 5.12)

福岡簡裁判事

末 松 宏 之

2 裁判官の転補等について

高松高判事 (部総括) ・高松簡裁判
事

広島地家福山支判事 (支部長) ・福
山簡裁判事 (司掌者)

森 實 将 人 (42)

広島地家福山支判事 (支部長) ・福
山簡裁判事 (司掌者)

広島地家呉支判事 (支部長) ・呉簡
裁判事 (司掌者)

絹 川 泰 毅 (44)

広島地家呉支判事 (支部長) ・呉簡
裁判事 (司掌者)

広島高判事 ・広島簡裁判事

山 口 格 之 (44)

札幌高判事 (部総括) ・札幌簡裁判
事

横浜地家横須賀支判事 (支部長) ・
横須賀簡裁判事 (司掌者)

小河原 寧 (46)

横須賀簡裁判事 (司掌者) ・横浜地
家横須賀支判事 (支部長)

さいたま家地判事 (部総括) ・さい
たま簡裁判事

飯 畑 勝 之 (45)

さいたま家地判事（部総括）・さい
たま簡裁判事

東京高判事・東京簡裁判事

瀬戸啓子(46)

さいたま簡裁判事（司掌者）

東京簡裁判事

山田千秋

東京簡裁判事

川崎簡裁判事

土肥直樹

甘木簡裁判事

福岡簡裁判事

高津佐邦弘

3 裁判官の新規任命等について

東京簡裁判事・東京家判事補（職権
特例指名）

外務事務官（在カナダ日本国大使館
一等書記官）

川淵達也(67)

川崎簡裁判事

土田昭彦

4 裁判官の海外出張について

「裁判官海外出張者名簿」のとおり

5 令和6年春の勲章受章者の内定について（報告）

「令和6年春の勲章受章者名簿（内定）」のとおり

6 裁判官の罷免について（報告）

罷免

仙台高判事・仙台簡裁判事

岡口基一(46)

裁判官会議（第13回）議事録

令和6年4月17日（水曜日）

裁判官会議室において、午前10時30分開議

出席者 戸倉長官、深山、三浦、草野、宇賀、林、岡村、安浪、渡邊、岡、堺、今崎、尾島、宮川各裁判官

戸倉長官議長席に着く。

議事

1 新裁判官の配置について

小野寺総務局長から、資料第1に基づき、最高裁判所判事に任命予定の石兼裁判官の配置について説明があり、同裁判官を第三小法廷に配属することを決定した。

2 人事について

- (1) 徳岡人事局長から、資料第2に基づき、人事関係事項について説明があり、1の裁判官の退官については、報告がされ、2の裁判官の転補等については、原案どおり決定し、

- (2) 徳岡人事局長から、資料第3に基づき、新潟地方裁判所長の補職等について説明があり、次のとおり決定した。

ア 新潟地方裁判所長蓮井俊治の定年退官に伴い、名古屋高等裁判所判事（部の事務総括者）松村徹を新潟地方裁判所長とし、その後任者を富山地方、家庭裁判所長吉田彩とし、その後任者を横浜地方裁判所判事中山大行とする。

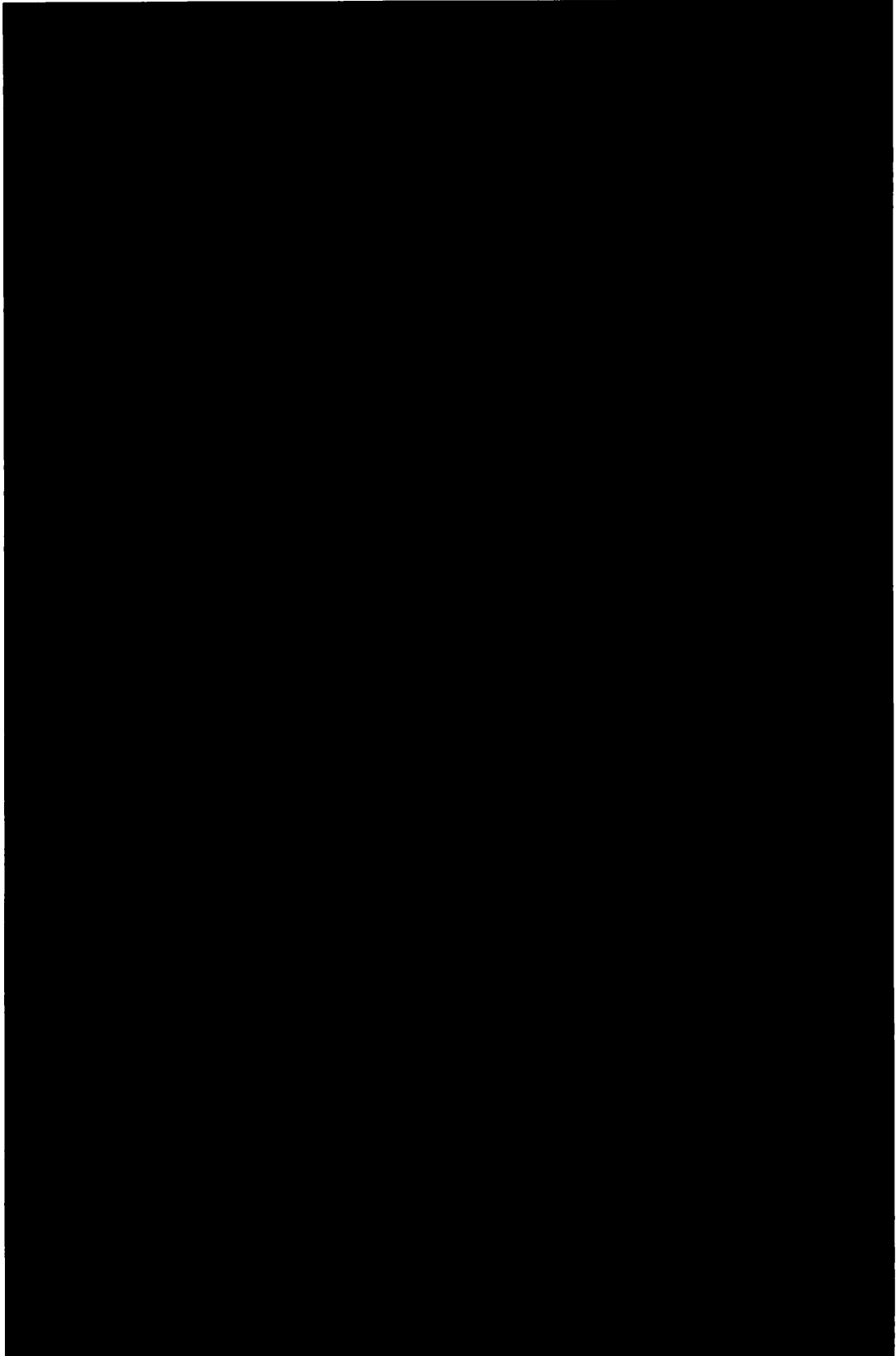
イ 東京高等裁判所判事脇博人の依願免本官並びに兼官に伴い、裁判所職員総合研修所長後藤健を東京高等裁判所判事（部の事務総括者）とし、その後任者を長野地方、家庭裁判所長江原健志とし、その後任者を金沢地方、家庭裁判所長林俊之とし、その後任者を東京高等裁判所判事任介辰哉とする。

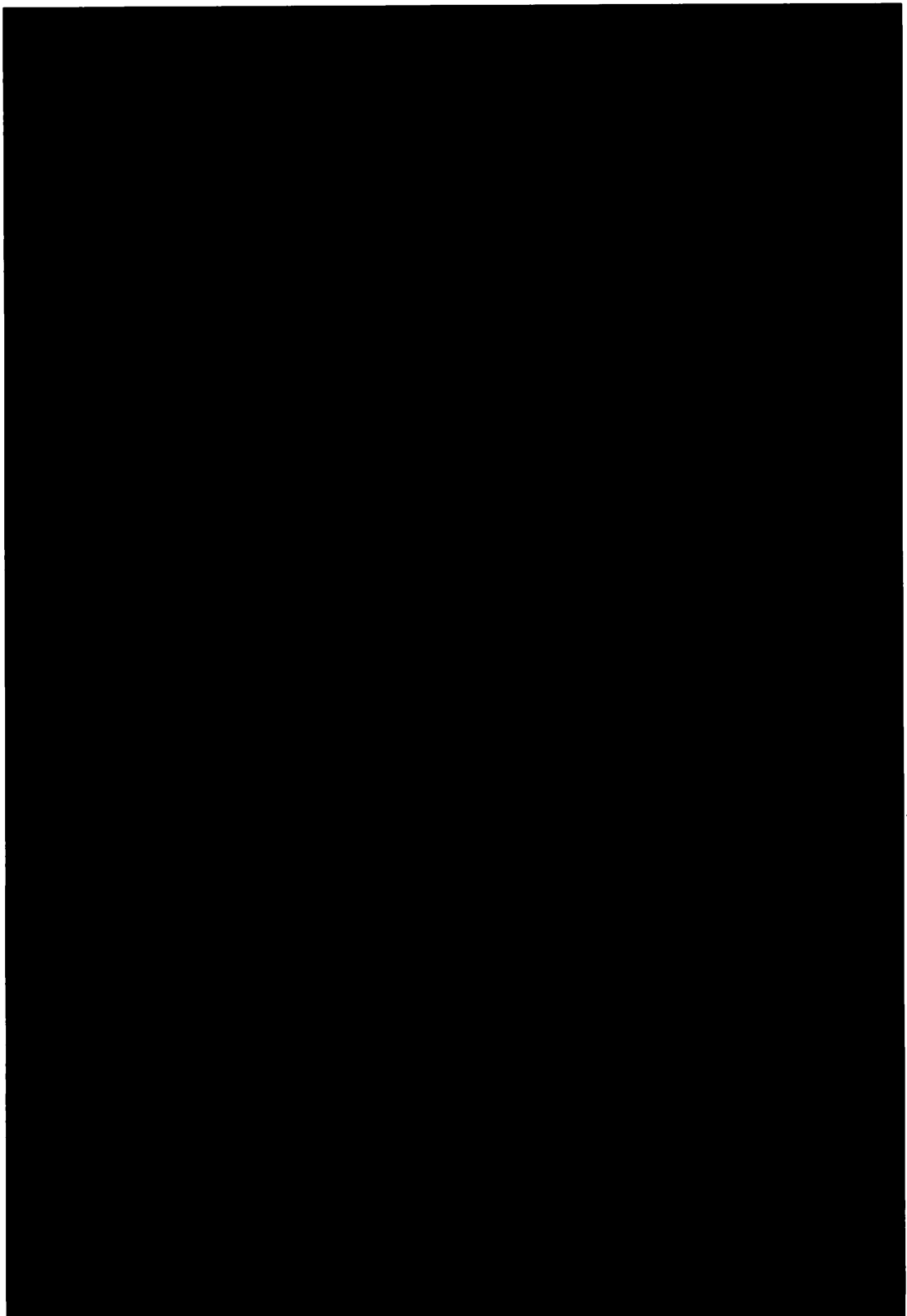
午前10時50分終了

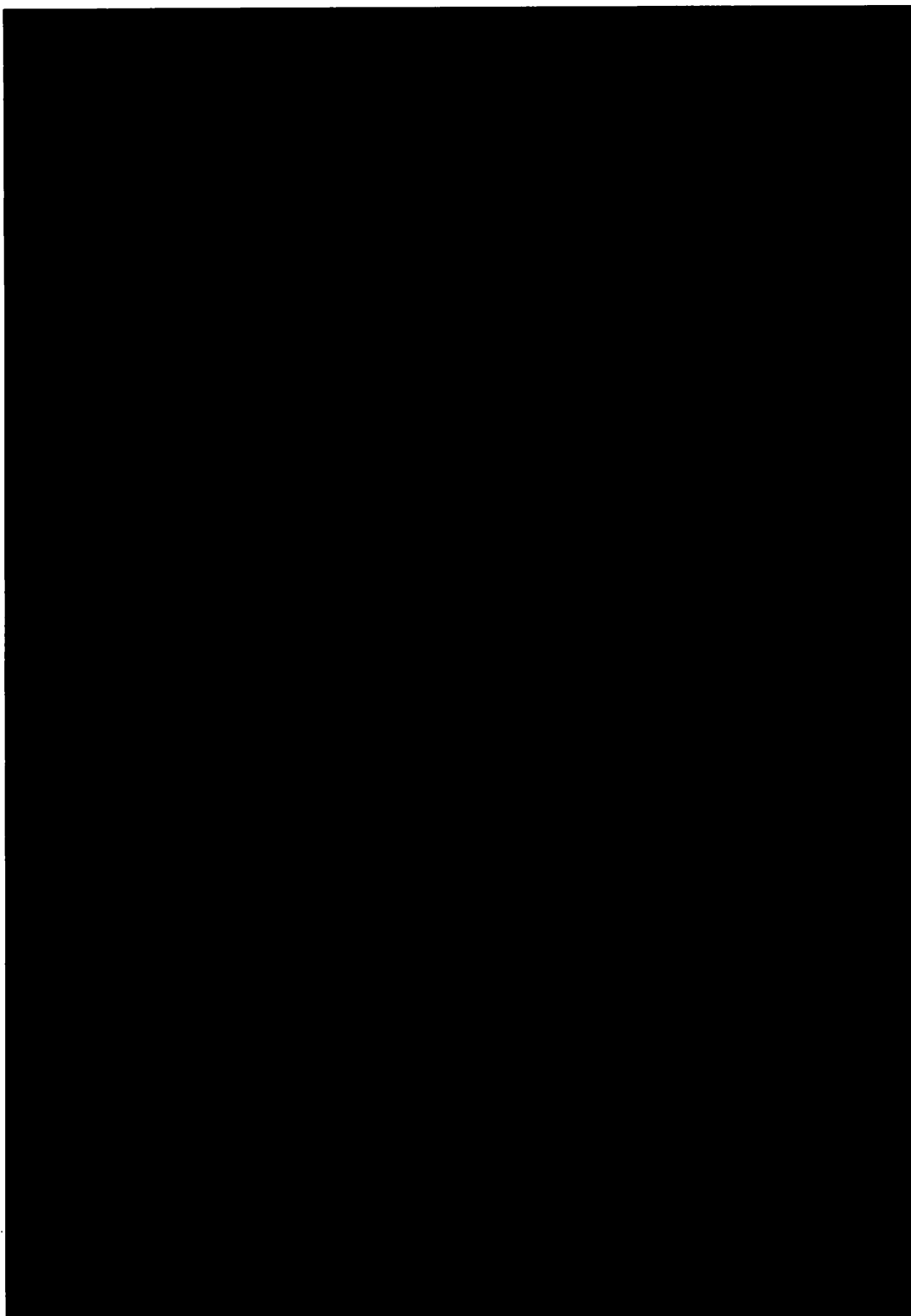
議長

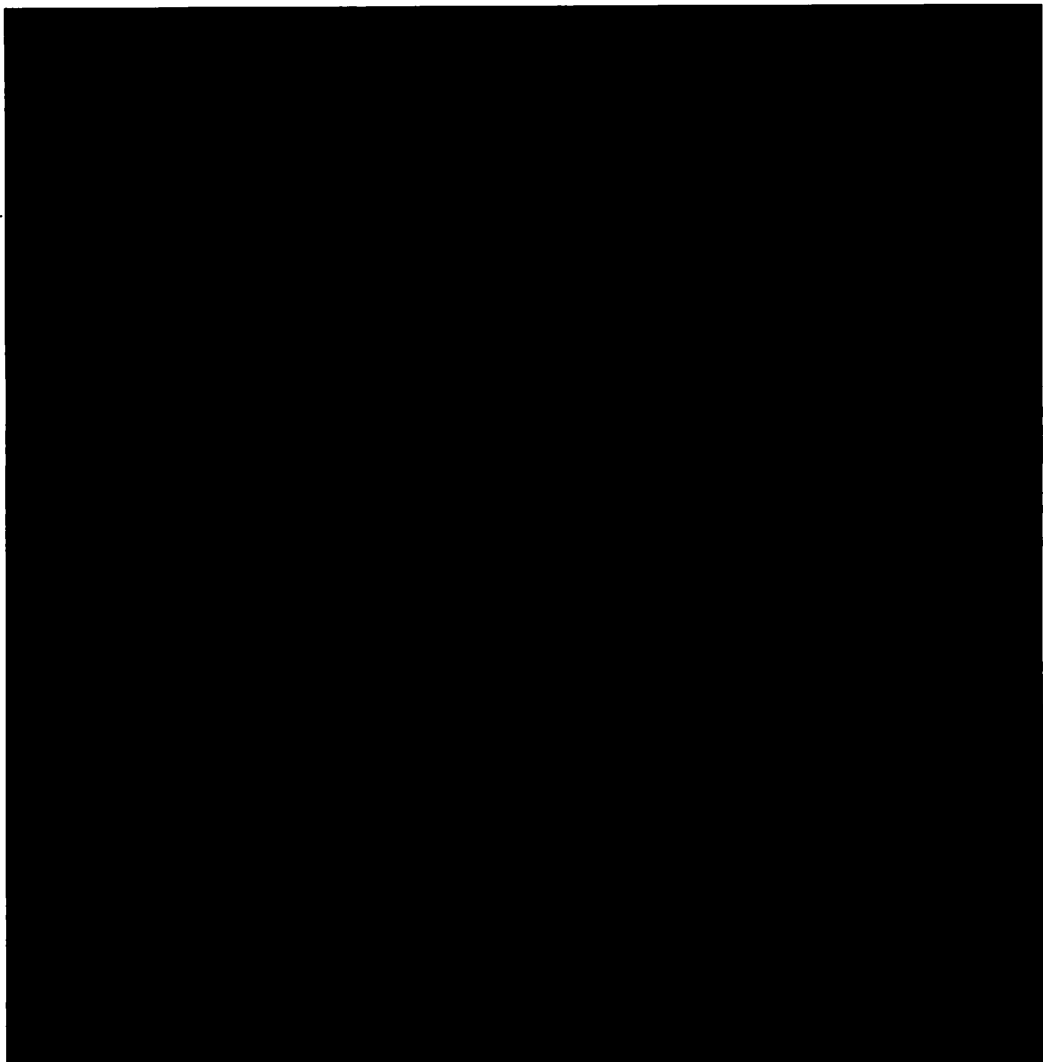
秘書課長

別紙









裁判官会議付議人事関係事項(令和 6. 4. 17提出)

1 裁判官の退官について

定年退官 (令 6. 5. 17)

福岡簡裁判事

須 田 啓 之

2 裁判官の転補等について

川崎簡裁判事 (司掌者) ・ 横浜地家

東京高判事 ・ 東京簡裁判事

川崎支判事 (支部長)

楡 井 英 夫 (45)



裁判官会議（第14回）議事録

令和6年4月24日（水曜日）

裁判官会議室において、午前10時30分開議

出席者 戸倉長官、深山、三浦、草野、宇賀、林、岡村、安浪、渡邊、岡、堺、今崎、尾島、宮川、石兼各裁判官

戸倉長官議長席に着く。

議事

人事について

- (1) 徳岡人事局長から、資料第1に基づき、人事関係事項について説明があり、1の裁判官の退官については、報告がされ、2の裁判官の検事転官等及び3の裁判官の転補等については、いずれも原案どおり決定した。
- (2) 徳岡人事局長から、資料第2に基づき、山形地方、家庭裁判所長の補職等について説明があり、次のとおり決定した。

知的財産高等裁判所判事東海林保の定年退官に伴い、山形地方、家庭裁判所長中平健を知的財産高等裁判所判事（部の事務総括者）とし、その後任者をさいたま地方、家庭裁判所川越支部長原克也とする。

午前10時34分終了

議長

秘書課長

裁判官会議付議人事関係事項(令和 6. 4. 24提出)

1 裁判官の退官について

定年退官 (令 6. 5. 28)

瀬戸簡裁判事

上 杉 誌 朗

2 裁判官の検事転官等について

依願免本官並びに兼官 (令 6. 5. 31)

(退官後在アメリカ合衆国日本国大
使館)

最高裁秘書課付 (東京地判事補・東
京簡裁判事)

竹 田 泰 樹 (69)

3 裁判官の転補等について

横浜地判事 (部総括) ・横浜簡裁判
事

東京高判事・東京簡裁判事

佐 藤 卓 生 (48)

名古屋簡裁判事

福井簡裁判事・大野簡裁判事

三 崎 雅 司